

平成 20 年 8 月 28 日  
 青森県水産総合研究センター

ヒラメ稚魚分布密度調査結果（日本海）について

青森県水産総合研究センターでは天然ヒラメの稚魚分布密度調査を 1980 年から行っており、今年も 7 月 17 日、8 月 11 日、8 月 26 日に桁網（水工研Ⅱ型）を用いて日本海のつがる市沖 8 点で調査を行いました（表 1、図 1）。今年のヒラメの分布密度は表 2 のとおりで（桁網効率を 0.28 とした）、採集したヒラメのサイズは図 2 のとおりです。着底指数（水深別平均分布密度の年最高値）の推移を図 3 に示しました。今年の着底指数は 2004 年に次いで過去 2 番目に高い値でした。

太平洋海域においても同様の調査をおこなっており、調査終了後結果をお知らせします。

表 1 調査内容

項目	内容
概要	ヒラメ稚魚を採集し、密度を求めた
使用漁具	鉄製桁網(1980~1998年) 水工研Ⅱ型(1999年~)
桁網効率	0.28
調査水深	5m、10m
曳網速度	2ノット前後
曳網時間	5~20分間
調査時期	8月前後(6~11月)



図 1 調査点

表 2 ヒラメ分布密度（個体/1,000m<sup>2</sup>）

調査日/場所	水深 5m				水深 10m			
	出来島	高山南	高山北	車力	出来島	高山南	高山北	車力
7月17日	265	101	279	91	57	29	16	14
8月11日	303	433	445	170	63	193	122	160
8月26日	136	132	69	-	47	34	37	78

\* 桁網効率を 0.28 とした。

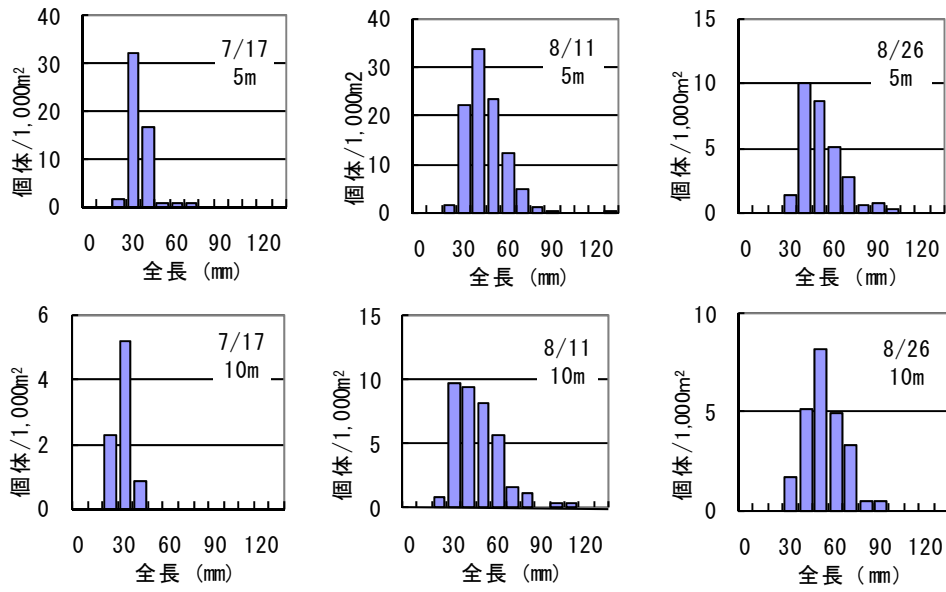


図2 採集したヒラメの全長別出現密度

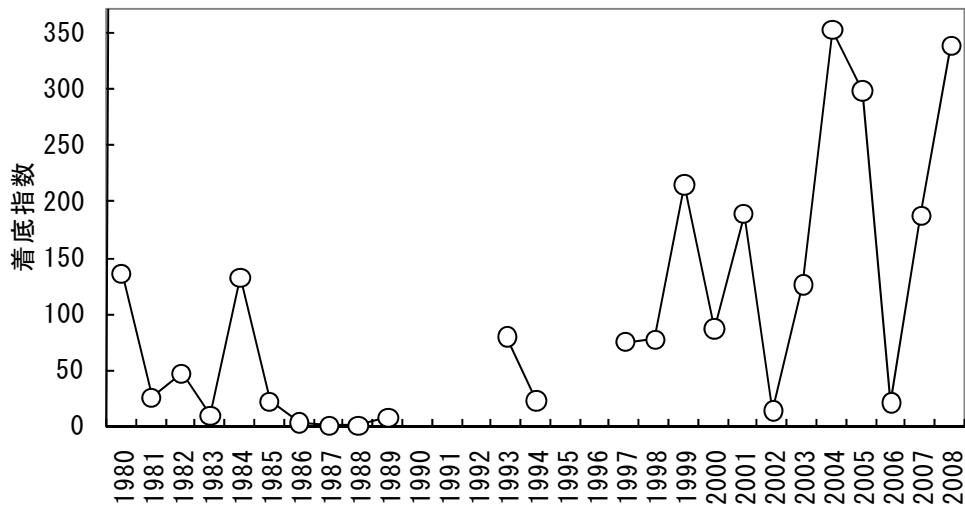


図3 日本海のヒラメ着底指数の推移

(着底指数：水深別平均分布密度 (個体/1,000m<sup>2</sup>) の年最高値。桁網効率は 0.28 とした。)